

こまeco通信

vol.16

ご意見・ご要望は、
狛江市環境部環境政策課まで
☎03-3430-1111(内線2566)
✉kankyokkr01@city.komae.lg.jp



今年中止

特集



来年こそは! こまエコ まつり



号外

狛江市、ゼロカーボンシティへ

これまでのこまエコまつりのご紹介

NPO法人フードバンク狛江の取組

キエーロde生ごみ消エール!

6月は浸水対策強化月間 ほか

今年は中止

特集

これまでのこまEcoまつりのご紹介

毎年6月に開催している、粕江最大の環境イベント「こまEcoまつり」。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。中止は昨年に引き続き2回目。毎年楽しみにされている方も多く、とても残念です。

そこで今回は、これまでに開催したこまEcoまつりの写真を元に、会場の楽しい雰囲気をお伝えします！

まだまだ安心できない状況が続いていますが、来年度のこまEcoまつりは、市民の皆さんの安全を

最優先とした上で、より多くの方に楽しんで環境の大切さを感じてもらおうイベントとなるよう、

さまざまな工夫を考えながら開催の実現を目指します！

★ 来年こそは、こまEcoまつりでお会いしましょう！



どなたさんもやってきた！

祝って

環境表彰制度 表彰式



市民活動団体のパネル展

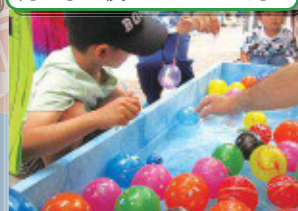


知って

スーパーボールすくい



再生水を使ったヨーヨー釣り



間伐材を使った積み木遊び



山梨県小菅村特産
ヤマメの塩焼き!



遊んで

生きものブース(剥製の展示)



廃食用油を使ったせっけん作り



親子でつくろう、発電する風車!
~自然エネルギーって何?~



体験して

キエーロdeごみ消エール!



キャンドル作り



貰って

ゴーヤの苗の配布



粕江市は、新しい生活様式に適應しながら、皆さんに環境の大切さを感じてもらえる機会を提供していきます。

来年こそ、笑顔でこまEcoまつり!

問合せ先 環境政策課環境係 ☎03-3430-1111 (内線2566)



エネルギーをみんなにそしてクリーンに



気候変動に具体的な対策を

こまエコ新聞

令和3年 6月3日

こまエコ新聞編集局

号外

狛江市、ゼロカーボンシティへ



狛江市「ゼロカーボンシティ」宣言文



表明に対する小泉環境大臣からのメッセージ

2050年までにCO2排出量実質ゼロ... 狛江市は、二酸化炭素(CO2)排出量実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を2050年までに目指すと表明・宣言した。

狛江市役所に100%再エネ電力

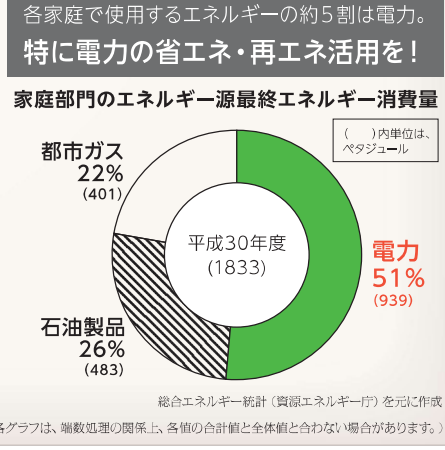
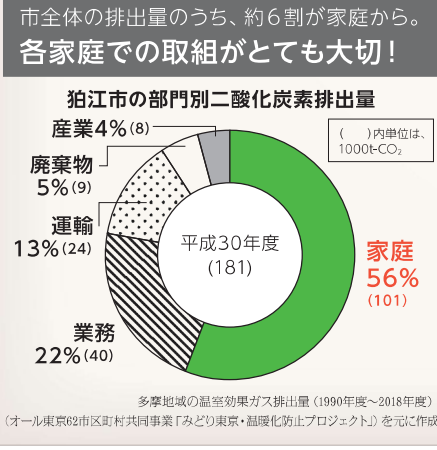
4月1日から この宣言に合わせ、狛江市では、市役所本庁舎で使用する電力を100%再生可能エネルギー(再エネ)電力に切り替えた。

こまエコまつり 今年中止! 来年こそは!

コラム1 なぜ大事なのか... 地球温暖化は人間活動による二酸化炭素の増加が大きな要因とされています。

熱中症など健康被害の増加、自然災害の激甚化、生物多様性の減少

コラム2 私たちができることは



多摩地域の温室効果ガス排出量(1990年度~2018年度) (オール東京23市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」)を元で作成

食品ロス削減!

取
組
紹
介

NPO法人

フードバンク狛江

☎ 03-5497-0272
✉ info@fb-komae.org
📱 「フードバンク狛江」で検索
🌐 https://fb-komae.org/

食べきれずに余っている食品等の寄付をお願いします!

フードバンク狛江では、寄付いただいた食品を生活相談窓口「こまYELL」や学校給食のない時期に食べものに困っている子育て世代に提供しています。新型コロナの影響等で寄付が減っています。皆様のご支援をお待ちしています。



食品ロス問題とは

まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。食べ物を捨ててしまうのは、もったいないだけでなく、地球環境にも悪影響が。

日本の1年間の食品ロスは、約600万トン=東京ドーム約5杯分

※東京ドーム(体積約124万m³)

国民1人あたりに換算すると、

毎日お茶碗1杯分(約130g)、年間約47kgの食料を捨てていることになります。

食品ロスを放置すると、大量の食べ物が無駄になるだけでなく、環境悪化(運搬や焼却の際に二酸化炭素(CO₂)を排出)や将来的な人口増加による食料危機にも適切に対応できません。

未来のために、私たち1人1人が、食品ロスを減らすことが大切です。

出典/農林水産省「食品ロス量(平成30年度 推計値)の公表」、総務省人口推計「平成30年度食料需給表(確定値)」

寄付して
いただいた食品
等を提供先ごと
に仕分け



必要な方に提供
(ひとり親 子育て
応援等)



フードバンクに寄付できるもの

- 賞味期限が1ヶ月以上あり、常温保存できるもの(お米、お菓子、調味料、飲料、カップ麺、袋麺、乾麺、缶詰、レトルト食品、即席食品など)
- 欠品を出さないために作られた余剰品
- 官庁や企業が、職員のために備蓄した防災品のうち、期限が迫ってきたもの
- 中身には何の問題もないが、売り物にならなくなった商品(外箱に傷がついた、印字ミスなど)
- 賞味期限まではまだ期間があるが、小売店などで販売する期限が切れてしまったもの

お米



お菓子、調味料、飲料



カップ麺、袋麺、乾麺



缶詰、レトルト食品、即席食品



フードバンクに寄付できないもの

- 賞味期限切れ、または賞味期限が間近で消費が困難な商品
- 常温保存ができない食品(野菜、肉などの生鮮食品)・嗜好品(お酒やたばこなど)

寄付の受付場所

皆様の温かいご支援をお願いいたします。



常設

※開館時間などは、各施設HPでご確認をお願いいたします。

● こまえ正吉苑	西野川 2-27-23	☎ 03-5438-0555
● こまえ苑	岩戸南 4-17-17	☎ 03-3489-2404
● こまえくぼ 1234	和泉本町 1-2-34	☎ 03-5761-5556
● 社会福祉協議会 (あいどびあセンター内)	元和泉 2-35-1	☎ 03-3488-0294

月曜・木曜(祝日の場合は翌平日)のみ

● 事務所兼倉庫	西野川 1-16-7	☎ 03-5497-0272
● 狛江市庁舎1階作業所	和泉本町 1-1-5	☎ 03-5497-0272

自宅でも食品ロス削減!

冷蔵庫整頓術

- 1 **冷蔵庫の収納は7割程度にする**
「どこに」「何が」「どのくらいあるのか」がすぐわかる
冷蔵庫内の冷気の循環も良くなり、電気代の節約に
- 2 **作りおきの保存には中身の見える容器を**
一目で残りの量が見えて、食べ忘れなし
- 3 **食材や調味料は定位置を決めておく**
食材の使い忘れ防止、ストック食材の確認もスムーズ



あなたが思っているよりも

つらい思いをしている人がいます。



軽い気持ちで捨てたそのタバコ
時間をかけて拾っている人がいます。



狛江市では、条例※1により

※1 狛江市路上喫煙等の制限に関する条例 ※2 路上喫煙等制限重点地区

市内全域で歩きたばこ・たばこのポイ捨てを禁止しています。

■ 狛江駅・和泉多摩川駅周辺※2では、指定喫煙所以外での路上喫煙は禁止です。

■ 上記の重点地区で路上喫煙・歩きたばこを行うと、指導・勧告の対象となり、悪質な場合は
2万円以下の過料が科せられます。

**たばこを吸う人も吸わない人も
気持ちよく住めるまちづくりにご協力ください。**

問合せ先 環境政策課環境係 ☎03-3430-1111(内線2566)

今年も
やります!

緑のカーテン at 市役所

夏の暑さ対策、二酸化炭素削減策として、今年も市役所庁舎で緑のカーテンを育て、涼しさを送り届けます。

緑のカーテンは、アサガオやゴーヤなどの植物を建築物の壁面を覆うように育てて緑化を行う取り組み。植物の成長を楽しみながら涼しさを感じることでできる緑のカーテン。皆さんも挑戦してみませんか?

緑のカーテンは
いいことだらけ!

いいこと その1!

窓に入る直射日光を遮り、
地面などからの放射熱も緩和する!

いいこと その2!

吸収した水分を葉が蒸発(蒸散)する
ときに周りの熱を奪う!

いいこと その3!

緑が二酸化炭素を吸収する!

いいこと その4!

緑が増えて美しいまちなみに!

いいこと その5!

植物の成長が毎日の楽しみに!



みんなも

今年は、緑のカーテンづくりにチャレンジしよう!

問合せ先 環境政策課環境係 ☎03-3430-1111(内線2566)

キエーロde生ごみ

「ベランダdeキエーロ」消エール!



1 キエーロってなに??

- ・黒土に含まれるバクテリアの力で生ごみを分解する生ごみ処理器です。
- ・電気や特殊な菌などを使用せずに、手軽に生ごみの減量に取り組むことができます。
- ・夏季は3~4日、冬季は2週間ほどで分解するので、土の量が増えることはありません。

2 キエーロの特長

- ・庭でも、ベランダでも取り組むことができます。
- ・黒土の中のバクテリアが生ごみを分解するため、維持費がかかりません。
- ・正しく使えば、虫や匂いが気になりません。
- ・バクテリアには水分も必要なため、水切りの必要がありません。
- ・食用の廃油、汁物、腐ったもの、カビが生えたものでも投入が可能です。



3 キエーロを上手に使うためのポイント

- ・土の表面を乾かすためにも太陽の光と風通しを確保することが重要です。
- ・日当たりが悪く、湿気の多い場所は避けましょう。
- ・生ごみは小さく刻むと、土になじみやすくなります。

キエーロを使って、楽しく生ごみを減らしてみませんか!



キエーロの利用方法

1 穴を掘り、生ごみを入れる

一日一回混ぜ返すと分解が早まります。10cm程度穴を掘って生ごみを投入します。



2 生ごみと土をよく混ぜる

生ごみは土と触れることで分解されるので、土とよく混ぜることが大切です。生ごみと土が良く絡むようにシャベルでザクザクと混ぜます。分解を進めるには、中の土に適度な水分が必要です。土を握って形が残るぐらいの状態が必要です。



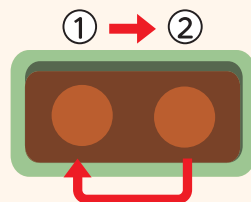
3 表面に乾いた土をかぶせる(ふたをする)

虫を発生させないため、土の表面に生ごみが出ないように注意します。生ごみが分解を開始します。分解を早くするため、一日一回混ぜ返してください。



4 埋める場所を変えてそれを繰り返す

「ベランダdeキエーロ」は、埋め穴は2ヶ所が目安です。夏季は2日~3日、冬季は4日~5日程度に1回、それぞれの穴に生ごみを投入します。※季節や生ごみの種類、量によっては消滅していない場合があります。その場合は、よく土と混ぜてください。



キエーロすき・きれいリスト

だいすき	すき	にがて(時間がかかる)	きれい
<ul style="list-style-type: none"> ◎傷んだ野菜・果物 ◎火を通した野菜・果物 ◎魚の内臓・煮汁 ◎生肉・脂身 ◎残飯・デザート等 ◎ジャム・バター 	<ul style="list-style-type: none"> ○刻んである野菜くず ○じゃがいもなどの野菜の皮 ○火を通した魚・肉 ○パン ○麺類 	<ul style="list-style-type: none"> △かんきつ類の皮 △たまねぎの皮 △枝豆のサヤ △スイカの皮 △ごぼう・にんじん等の根菜類 △ブロッコリーの太い茎 △昆布 △魚の大きな頭や小骨 △えび・かに・卵の殻 	<ul style="list-style-type: none"> ×貝の殻 ×鶏の骨 ×タケノコ・トウモロコシの皮 ×栗の皮 ×梅干・野菜等の種



6月は浸水対策強化月間

浸水ゼロ・安全・快適! 下水道

～みんなで備えて、浸水からまちを守ろう!～

下水道管は汚水だけでなく雨水も流しています



下水道には、道路や宅地に降った雨をすみやかに下水道管に流して、浸水から街を守る役割があります。

道路の端に設置されている「雨水ます」が下水道への入口になります。「雨水ます」にゴミを入れたり、上に物を置いたりすると、雨水が下水道管へ流れ込まず浸水を引き起こす危険性が高くなります!



物を置かない ゴミを入れない

「浸水の備え」をお願いします



土のう設置

豪雨時には、雨水ますに入らなかった雨が、道路から流れ込み、浸水を引き起こす恐れがあります。

「土のう」や「止水板」等により、浸水を軽減することができます。

「土のう」は市内2箇所の「土のうステーション」から自由に持ち出すことができます。場所は第一地区消防隊器具置場(中和泉四丁目16番)と供養塚児童公園(駒井町三丁目3番)です。

「止水板」等については設置費用に対する助成制度があります。詳しくは市ホームページをご覧ください。



長い板を使った止水板

土のうステーション



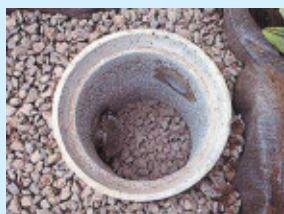
〈外観〉



〈内部〉



雨水浸透施設の設置をお願いします



〈雨水浸透ます〉
(穴を開けた雨水ますの周りに砕石を充填するなどして雨水を地中に浸透させるますです。)

都市化が進み、地中に浸透する雨水の量が減少しています。雨水浸透施設は、屋根に降った雨を地中に浸透させるもので、下水道管に流入する雨水を減らし、浸水被害を軽減することができるものです。

「雨水浸透ます」の設置費用に対する助成制度があります。既存住宅に関しても助成が可能です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



ハザードマップ

大規模な浸水が予想される際は身を守る行動が必要です。想定される浸水深は狛江市防災ガイドに洪水ハザードマップとして掲載されています。また、河川からの洪水ではなく、下水道管等の能力を超える降雨で発生する内水による浸水被害を想定した内水ハザードマップを6月下旬より各家庭へ配布を始める予定です。

避難の必要性の判断や日頃の備えに使用してください。



事前の準備をお願いします。



緑のまち推進補助制度

～フェンス緑化が新たに補助の対象となりました～

狛江市では、緑豊かなまちづくりのために緑化を行う方に対し、造成費の一部を助成しています。
生け垣等は災害防止に役立つとともに、四季折々に道ゆく人たちの目を楽しませてくれます。

狛江市は道沿いの緑化を進めるため、自宅に新たに生け垣・植樹帯・花壇・フェンス緑化をされる際にその費用の一部を補助する「緑のまち推進補助制度」を設けています。

フェンス緑化とは

つる樹木を、既設のフェンス1メートル当たり5株以上植え付け、フェンスと垂直方向に0.3メートル以上を枝葉で覆い、枝葉が道路から見えるようにするものです。補助対象は苗や土の費用です。補助対象となる金額は、費用総額の50パーセントまたは1メートル当たり2,000円のいずれか低い方となります。(上限50,000円)

- ★ 生け垣等の造成に伴うブロック塀の撤去についてもその費用の一部を補助しています。補助の対象となるのは道路に面したブロック塀です。
- ★ 今年度は令和4年2月28日(月)までに申請してください。
- ★ 工事後の申請はできません。
- ★ 工事を始める前に必ず環境政策課窓口にご相談ください。
- ★ 補助の対象要件等、詳しくは狛江市ホームページまたは環境政策課窓口へ。

〈フェンス緑化の例〉



【問合せ先】

環境政策課水と緑の係

☎03-3430-1111(内線2561)

「狛江水辺の楽校」のアレチウリ駆除月間がはじまります!!

アレチウリは北アメリカ原産のつる植物です。繁殖力が非常に強く、他の植物に覆いかぶさることで、日光を遮り、弱らせたり枯らしたりします。外来生物の中でも特に生態系に悪影響を与える特定外来生物に指定されています。多摩川にも多く見られており、狛江水辺の楽校が毎週日曜日(午前10時～正午)に実施している環境保全活動の中でも「アレチウリ駆除」を行っています。狛江の自然を守るための活動に参加してみよう!!



アレチウリはもともと人の手によって持ち込まれました。駆除するときはゴメンナサイの気持ちを忘れずに!!

★外来種について★

アレチウリをはじめとする外来生物はもともと人間の手によって、持ち込まれたものです。生物多様性を守るため下記の3つの原則を守りましょう。

1. 悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本にいれない
2. 飼っている外来生物を野外に捨てない
3. 野外にすでにいる外来生物は他の地域に持っていかない

【問合せ先】

環境政策課水と緑の係 ☎03-3430-1111(内線2562)

狛江水辺の楽校事務局 ☎090-3525-8506

お買い物をとおして、生物多様性の保全に貢献しよう!!

私たちは、「生物多様性保全に取り組む」と聞くと少し難しく考えてしまいがちですが、お買い物の際に、少し注意して商品を選ぶことで、身近なことから生物多様性に貢献できます。商品選びのポイントを知り、お買い物しましょう!

- Point 1 地産地消!! 市内などの地元で生産された農作物を購入する。
- Point 2 国内原産原料や、国内産農産物で生産された農作物を購入する。
- Point 3 環境や生きものの生息環境に配慮して生産されている商品を購入する。

環境や生きものの生息環境に配慮して生産されている商品の多くにはマーク「エコラベル」がついています。身の回りでいくつみつけれられるでしょうか?

<p>エコマーク</p>  <p>「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベル</p>	<p>FSC 認証制度 (森林認証制度)</p>  <p>適切な森林管理(自然生態系への配慮等)が行われていることを認証する「森林管理の認証」と森林管理の認証を受けた森林からの木材・木材製品であることを認証する「加工・流通過程の管理の認証」がある</p>
<p>有機食品の検査認証制度 (有機 JAS)</p>  <p>農業や化学肥料等化学物質に頼らずに自然界の力で生産された農産物、加工食品などについてJAS法で定められた基準に基づく認証。「有機JASマーク」が付されたものでなければ「有機」「オーガニック」の表示は不可</p>	<p>MSC 認証制度 (漁業認証とCoC認証)</p>  <p>持続可能で適切に管理されている漁業であることを認証する「漁業認証」と、流通・加工過程で認証水産物と非認証水産物が混ざることを防ぐCoC認証がある</p>
<p>レインフォレスト・アライアンス認証 (RA 認証)</p>  <p>「持続可能な農業基準」(生態系保全、野生生物保全、水保全、労働者の公正な処遇と良好な労働環境等10の原則)に基づく作物を栽培する農園・生産者グループの認証</p>	<p>国際フェアトレード認証 (Fairtrade International)</p>  <p>国際貿易のなかで不利な立場に置かれた途上国の生産者と、先進国の消費者を結びつけ、より公正な取引を促進するための制度。経済的基準、社会的基準及び環境基準が設定されており、貴重な生態系の保護も要件となっている</p>

広告欄

広告募集中!
ここに広告を掲載しませんか?

こまeco通信は狛江市市内全戸配布しています。

広告サイズ (縦)4.5cm×(横)7.9cm
広告掲載料 25,000円/1枠
募集枠 各回2枠

お申込み・ご相談は環境政策課環境係まで
☎03-34303-1111(内2566)